

四条堀川交差点・雨庭整備

～平成29年度市民公募型緑化推進事業～



建設局みどり政策推進室

平成30年4月

市民による自治120年



京都市
CITY OF KYOTO
京都市はSDGsを
支援しています。



はじめに

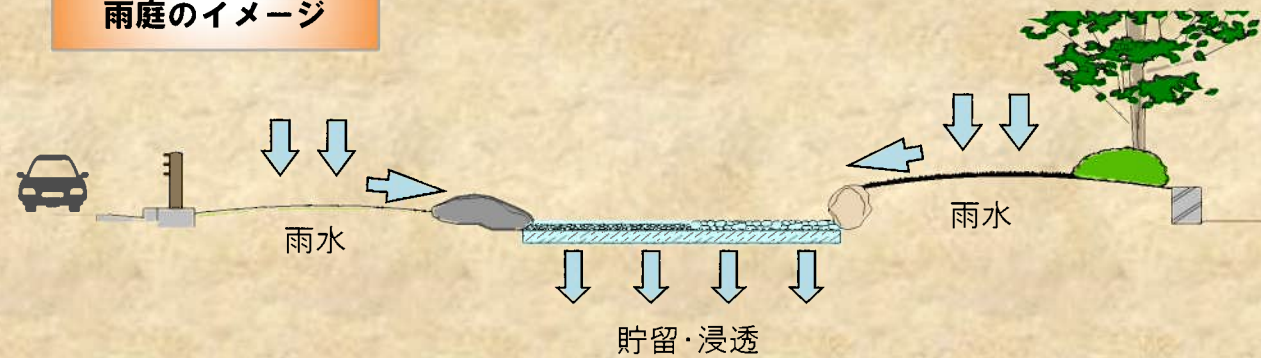
四条堀川交差点南東の植樹帯は、市民の皆様からいただいた御意見をもとに緑地整備を進める「市民公募型緑化推進事業」の中で、雨庭として整備を行ったものです。

雨庭とは、地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる構造を持った植栽空間（庭）のことです。修景・緑化の推進の他、雨水流出抑制、水質浄化、ヒートアイランド現象の緩和などの効果が期待されています。

京都では、この雨庭機能を取り入れた美しい庭園が寺社などで古くから造られてきました。

京都市では、この高い技術を継承している京都の造園技術者の皆様と連携し、京都の庭園文化を取り入れた緑の空間整備を公共用地で進めていきます。

雨庭のイメージ



アスファルトに覆われた都市空間では、地上に降った雨はほとんど地中に浸み込むことなく排水されていきます。しかし、近年のゲリラ豪雨等では排水処理能力を超え、道路近辺で氾濫が起こるようになりました。

雨庭を設け、道路上に溢れる雨水を一時的に溜めることで氾濫を抑制することができ、地中へゆっくりと浸透させることで周囲の緑だけでなく、地下水も涵養し健全な水循環に貢献することができます。



京都の庭園文化を取り入れた雨庭



貴船石

貴船石は、京都を代表する銘石である加茂七石（貴船石、八瀬真黒石、紅加茂石、畑石（雲ヶ畑石）、畚下石、鞍馬石、賤機糸掛け石）のひとつで、鴨川の上流部にあたる貴船地方で産出された川石です。かつて貴船地方が海の底であった時代に海底火山の活動によって流れ出した溶岩が冷え固まってできた石で、紫色や緑色といったイメージが定着していますが、青、グレーなど多様な色合いがあります。庭石として用いられてきましたが、今日ではあまり産出されておらず、大変貴重なものとなっています。

山石

この雨庭では、京都近辺の山から産出した山石を多く使用しています。山石は、京都の庭園で古くから用いられており、金閣寺や天龍寺の庭園で使われている景石の多くもこの山石と言われています。



監修/資料提供
京都大学名誉教授
(公財)都市緑化協会理事長 森本幸裕

四条堀川で四季を彩る樹木や草花

春

夏

秋

冬



ヨウコウザクラ



ヤマブキ



ハナミズキ



サルスベリ



ヤブラン



イロハモミジ

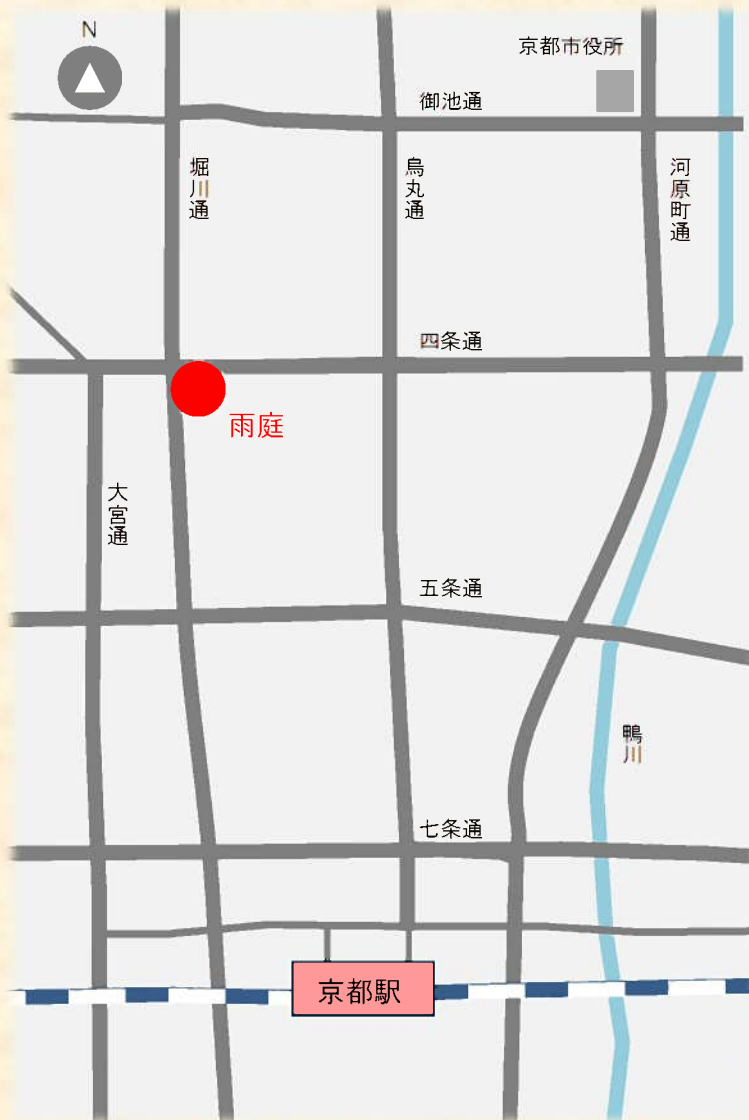


ツバキ



ロウバイ

位置図



事業の概要

工 事 名：平成 29 年度市民公募型緑化推進事業植栽工事

施工箇所：京都市下京区四条堀川町

施工面積：約 220 m²

施工期間：平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月

施 工 費：約 12,000 千円

施工概要：四季を通じて樹木や草花を楽しんでいただける
緑の空間として京都の庭園文化を活かした雨庭
を整備するもの。



京都市建設局みどり政策推進室

〒604-0911 京都市中京区河原町二条上る清水町 359 番地 A B ビル 3 階

電話 075-741-8600

平成 30 年 4 月発行 京都市印刷物第 303022 号



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！